

地域包括支援センターの設置状況

1 人員体制（令和6年3月31日現在）

所長1名 職員19名

社会福祉士	保健師	主任介護支援専門員	その他
5名	4名	7名（4名）	3名

その他（作業療法士・介護支援専門員・一般事務）（ ）内はサブセンター配置

<評価>

地域包括支援センターの保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員については、市内の第1号被保険者の数がおおむね3,000人以上6,000人未満ごとに1人ずつ配置することとなっており、基準を満たしています。

2 サブセンター職員派遣先

小野田赤十字在宅介護支援センター（休止中）

おのだ在宅介護支援センター

高千帆苑在宅介護支援センター

地域包括支援サブセンターフクシア

サンライフ山陽在宅介護支援センター

<評価>

市内5か所にサブセンターを設置し、より身近な地域で相談支援が行えるよう取り組みました。小野田赤十字在宅介護支援センターについては、休止が続いていますが、地域包括支援センターの地区担当職員が対応しました。

事業報告

1 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 第1号介護予防支援事業

要支援1・2と認定された者及び総合事業対象者に対する介護予防ケアマネジメントを実施しました。また、その業務の一部を指定居宅介護支援事業所に委託して実施しました。令和5年度委託事業所は（別紙1）のとおり。

【介護予防ケアマネジメント】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護予防ケアマネジメント件数	3,880件	3,900件	4,315件
うち居宅介護支援事業所へ委託した数	1,032件	927件	1,061件
委託率	26.6%	23.8%	24.6%

【介護予防ケアマネジメント費】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域包括支援センター分	12,800,690円	13,396,740円	14,612,520円
居宅介護支援事業所への委託分	4,846,120円	4,357,260円	4,989,180円
合計	17,646,810円	17,754,000円	19,601,700円

<評価>

介護予防ケアマネジメントは、令和5年度の見込みを上回る件数となりました。今後も後期高齢者の増加が見込まれていることなどから対象者が増加することが考えられます。より介護予防や自立支援に重点を置いたケアマネジメントを行うことにより、状態悪化の防止に努めるとともに住み慣れた地域で自立した生活を続けられるよう支援していくことが重要です。

(2) 一般介護予防事業

介護予防の必要性について普及啓発や地域住民の主体的な介護予防への取組を支援しました。健康遊具を活用した介護予防、多様な介護予防に取り組みました。

【実績】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
住民運営通いの場	90か所	88か所	90か所
住民運営通いの場参加人数	1,132人	1,056人	1,060人
介護予防応援隊養成者数（累計）	141人	164人	171人
あたまの健康チェック受検者数	192人	209人	188人
あたまの若返り教室開催数	3回	3回	3回

介護予防関係講座参加人数	441 人	409 人	774 人
基本チェックリスト実施数	497 人	776 人	540 人
健康遊具を活用した介護予防教室	—	—	6 回

<評価>

いきいき百歳体操を実施する住民運営通いの場合は、新規に7か所の会場が立ち上がった一方で、廃止した会場もありました。

介護予防関係講座等は、出前講座の実施回数や、いきいき百歳体操のプレゼンテーション回数が増加したこともあり、令和4年度の倍以上の講座を実施することができました。この結果昨年度より参加人数が大きく増加しました。

2 包括的支援事業

(1) 総合相談支援業務

高齢者に対する様々な相談を受け、適切なサービス等へつなぐことで、高齢者が安心して生活を継続できるよう取り組みました。

【相談実人数】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域包括支援センター(高齢福祉課)	1,680	1,695	1,924
おのだ在宅介護支援センター	117	70	37
高千帆苑在宅介護支援センター	45	80	26
地域包括支援サブセンターフクシア	—	16	33
山陽在宅介護支援センター	56	—	—
サンライフ山陽在宅介護支援センター	38	44	19
合 計	1,936	1,905	2,039

【相談形態(延べ件数)】

内容	電話	来所	訪問	その他	合計
件数	1,431 件	1,024 件	418 件	32 件	2,905 件

【相談内容（延べ件数）】（抜粋）

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護保険サービス・総合事業関係	1,225件	1,217件	1,201件
介護保険外サービス等	70件	44件	41件
医療に関すること（認知症以外）	149件	148件	134件
認知症に関すること（若年性認知症含む）	373件	290件	364件
ケアマネジャーに関すること	40件	61件	81件
成年後見制度	29件	107件	125件
高齢者虐待	66件	50件	90件
その他	600件	702件	869件
合計	2,552件	2,619件	2,905件

<評価>

全体の相談件数は増加しています。相談内容については、認知症に関すること、高齢者虐待、成年後見制度の相談が昨年度よりも増加し、その他はほぼ前年度同様となっています。本部と比較して、サブセンターの相談件数が少なく、身近に相談できる機関としてのサブセンターの周知を引き続き行っていく必要があります。

（2）権利擁護業務

ア 成年後見制度活用支援

市民や関係機関へ対する成年後見制度の普及啓発を行いました。また、親族申立ての支援を行うとともに、親族申立てが困難な人に対して速やかな市長申立てに取り組みました。高齢福祉課内に設置している成年後見センターでも相談受付をしています。

【実績】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
成年後見市長申立て件数	2件	4件	4件

成年後見人報酬助成件数	3 件	2 件	4 件
成年後見センター相談延べ件数	—	144 件	216 件

イ 虐待への対応体制の確立

虐待に対する普及啓発を行うとともに、関係機関との連携強化へ取り組みました。

【実績】

内容	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
虐待通報件数 *施設虐待含	27 件	16 件 (1 件 65 歳未満)	11 件
虐待認定件数 *施設虐待含	5 件	27 件 (1 件 65 歳未満)	5 件

※施設虐待は通報は施設ごとで 1 件、虐待認定は事例ごとで 1 件とカウントしますので、1 施設の通報で数件の虐待認定となることもあります。

【関係機関との連携】

内容	令和 5 年度
高齢者及び障がい者虐待防止協議会 令和 5 年 10 月 26 日（木）18:00～19:30 内容：山陽小野田市高齢者虐待防止対策に関する取組方針について 高齢者及び障がい者虐待の現状及び課題について グループワーク 養護者支援について	1 回
成年後見制度利用促進体制整備推進事業 ○山陽小野田市成年後見制度利用促進協議会 第 1 回：令和 5 年 8 月 23 日（水）15:00～16:30 内容：令和 4 年度成年後見センターの取組状況報告 実践報告 チームの構築支援	1 回
○受任調整会議	3 回

<評価>

成年後見市長申立件数は大きく増加はしていないものの、今後認知症高齢者等の増加に伴い、成年後見制度の利用が必要な高齢者の増加が見込まれます。成年後見制度の利用促進に向けた取組として、必要な方が制度を利用できるような体制づくりを進めています。成年後見制度の周知にも力を入れており、成年後見センターへの相談件数は増加しました。

また虐待への対応については、関係者によるネットワーク構築への取り組みを通して連携強化と普及啓発を行うことができました。今後も継続した連携と虐待防止に向けた普及啓発の取組みが重要です。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の介護支援専門員（ケアマネジャー）をはじめ、多職種との協働による支援体制の構築に取り組みました。また、ケアマネジャーの資質向上のための研修会を実施しました。

ア 包括的・継続的なケア体制の構築

多職種協働を推進し、地域のケアマネジャーと関係機関との連携を支援しました。

【実績】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ケアマネジャー資質向上研修	1回	1回	1回

イ ケアマネジャーのネットワークの支援

地域のケアマネジャーへの情報提供・連絡調整などを行い、ケアマネジャーのネットワーク構築に努めました。

【実績】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ケアマネジャー連絡会	11回(延べ参加人数 331人)	12回(延べ参加人数 320人)	12回(延べ参加人数 266人)

ウ ケアプラン作成指導等を通じたケアマネジメントの指導

ケアプランの内容を点検し、介護保険の適正な利用及びケアマネジャーの資質向上のための支援を行いました。

【実績】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護給付適正化委員会	1回 (WEB開催)	1回 (WEB開催)	1回 (会場開催)
介護給付適正化会議	6回(取扱い事例25件)	5回(取扱い事例17件)	5回(取扱い事例24件)

エ 主任介護支援専門員の資質向上に向けた取組み

主任介護支援専門員の資質向上に係る達成目標や取組内容、評価方法などを定め、継続した資質向上へ取り組むことを目的とした「山陽小野田市主任介護支援専門員資質向上5か年計画」を令和3年11月に作成し、その計画に基づき、事業を行いました。

【実績】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
主任介護支援専門員連絡会	2回	5回	5回
スーパービジョン研修	2回	2回	2回
気づきの事例検討会	1回	4回	6回

<評価>

前年度作成した「社会資源マップ」の活用や更新に取り組みました。

今後も地域包括ケアシステムの推進に必要な地域課題の把握から社会資源の開発等の地域づくりや地域の介護支援専門員の人材育成等の役割を果たすことができる主任介護支援専門員の養成を図ります。

オ 職員の資質の向上に向けた取組み

市民により良いサービスを提供するとともに、地域包括支援センターの職員

が地域のケアマネジャーへの支援を適切に行えるよう、地域包括支援センター職員の資質の向上に取り組みました。

【実績】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
スーパービジョン研修	6回	6回	5回

<評価>

今後も多職種によるケアプランの検証や事例検討を通し、介護予防及び自立支援に資するケアプランの作成支援や介護給付適正化事業を継続することで、ケアマネジャーの資質向上を図る必要があります。

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域における医療・介護関係者の連携強化に向けた取組を行いました。

【実績】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
在宅医療・介護連携推進協議会及び作業部会 (WEB開催)	8回	7回	8回
多職種連携のための研修会 (WEB開催)	2回 第1回「在宅医療・介護連携推進における地域の目指すべき姿について」参加者 118名 第2回：「入退院支援」「日常の療養支援」「急変時	2回 第1回「本人・家族の思いに向き合う医療・介護専門職の姿勢と態度」参加者 95名 第2回「入退院時の多職種連携ルールについて」「多職	2回 第1回「本人・家族の思いを尊重した急変時の多職種連携」参加者 130名 第2回「エンディングノートの作成と活用に向けて」

	の対応」「看取り」 の4つの場面にお ける、現状と課 題 について 参加者 98名	種連携ルールの活 用方法について」 参加者 79名	参加者 120名
在宅医療介護普 及啓発	リーフレットの作 成	1回 映画「ピア」上映 会 ミニ講話「山陽小 野田市の在宅医 療・介護の今につ いて」参加者 161 名	1回 講演「最期はどこ で誰と過ごしたい ですか」 シンポジウム 参加者 144名
医療相談室	1 場所	1 場所	1 場所

<評価>

研修会では、療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取りなどの取り組み内容の充実を図りつつ、PDCAサイクルに沿った取組を関係機関と連携しながら行いました。研修会には多くの多職種の方に参加していただき、顔の見える関係づくりを進めることができました。

(5) 生活支援体制整備事業

<評価>

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、生活上の多様な困りごとへの支援を地域全体で支えるための地域づくりに社会福祉協議会と連携して取り組みました。地域の第2層協議体にオブザーバーとして参加した地区もありました。

今後も、地域のニーズに応じた支え合いの仕組みづくりや居場所づくりを推進していくために協議体と協力して課題を共有し取り組んでいく必要があります。

(6) 認知症総合支援事業

地域住民に対する認知症の普及啓発や地域における見守り体制の充実に取り組みとともに、地域における医療・介護等関係機関のネットワーク構築に努めました。

【実績】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症地域支援推進員の配置	2人	3人	3人
認知症サポーター養成者数	1,079人	720人	666人
認知症サポーターステップアップ講座受講者数	28人	28人	30人
認知症カフェ設置数	2か所	4か所	4か所
見守りネットさんようおのだ登録者数	1,310人	1,483人	1,599人
認知症普及啓発イベント	1回	2回	2回
本人ミーティング	1回	2回	2回
認知症家族介護者教室	1回 (参加8人)	2回 (参加15人)	2回 (参加12人)
見守り声かけ訓練の実施	1回(本山校区)	1回(本山校区)	3回(本山・須恵・厚陽)
チームオレンジの設置数	0	0	1か所

<評価>

前年度同様の事業を行うことができました。見守り声かけ訓練については、例年実施している本山校区の他に2校区で実施することができました。また、認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みであるチームオレンジも1か所立ち上げました。

(7) 地域ケア会議推進事業

個々のケアマネジャーの資質向上及び自立支援に資するケアマネジメントの

実施を目的に、地域ケア会議の充実に取り組みました。

【実績】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域ケア会議（事例検討部会）	6回	3回	3回
地域ケア個別会議（随時開催）	2回	2回	0回
介護予防のための地域ケア個別会議	19回	21回	21回
地域課題抽出会議	—	2回	1回

<評価>

地域ケア会議では、多職種でケアプラン検証を実施し、介護予防及び自立支援に資するケアプランの作成への支援を行うことで、ケアマネジャーの資質向上を図るとともに、地域の課題把握等に努めました。把握された地域課題を地域づくりや社会資源の開発に結び付けていくために、介護予防のための地域ケア個別会議の助言者に生活支援コーディネーターを追加し支援策を検討しました。今後も協議体などとも地域課題の分析を行い、支援策を検討することで、政策提言につながるような具体的な施策へ反映させる必要があります。

3 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

地域における様々な見守り体制との連携が図れるよう、民生児童委員等とのネットワーク強化に努めました。

【実績】

○ 民生児童委員協議会への参加（小野田3地区及び山陽地区）

<評価>

民生児童委員協議会へ各地区担当及びサブセンターが参加することで、相談しやすい関係づくりを進めることができました。

また、在宅医療・介護連携推進事業や地域ケア会議推進事業等を通じて多職種協働によるネットワークの構築を進めることができました。

4 指定介護予防支援

要支援1・2と認定された人に対する介護予防支援を実施しました。またそ

の業務の一部を居宅介護支援事業所へ委託して実施しました。

令和5年度委託事業所は別紙1のとおり。

【介護予防支援】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護予防支援件数	4,486件	4,663件	5,078件
うち居宅介護支援事業所へ委託した数	1,715件	1,738件	1,901件
委託率	38.2%	37.3%	37.4%

【介護予防支援費】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域包括支援センター分	12,401,550円	13,044,360円	14,171,880円
居宅介護支援事業所への委託分	7,882,980円	8,089,440円	8,824,380円
合計	20,284,530円	21,133,800円	22,996,260円

<評価>

要支援認定者が、介護予防サービス等が適切に利用できるよう、その心身の状況及び環境等を勘案したケアプラン作成するとともに、介護サービス事業者等の関係機関との連絡調整を行いました。介護予防支援は見込みを上回る件数となりました。居宅介護支援事業所への委託件数は横ばいでした。今後も後期高齢者の増加が見込まれていることから、対象者が増加していくことが考えられます。要支援状態になっても、在宅でその人の能力に応じ自立した生活を送るため、自立支援・介護予防に資する適切なケアマネジメントを実施していくことが必要です。